

てらこや 四十(+四)の瞳♪ ... こんな7月だったよの巻

7月8日 イカダワールドカップ 2026 開催!



ヤケを切って上まで暴ぶのが
大変だったのと、ヤケを結ぶ
のがむずかしいって! (花音)
旗に絵を描くのが
たのしかった。
オールでここのかき疲れたよ。

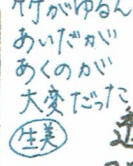
いけぞと結ぶのが
むずかしかった。
すぐゆるもからはじめて
やり直したり。すぐに

やりきったね!
がんばったね!

風でかき飛ばされたり、オールがこわ
れてたりして 大変だったよ。(花音)

形、うき、どうすれば
いいか考えたよ。

折り染め
七夕の短冊に
願いをこめて...

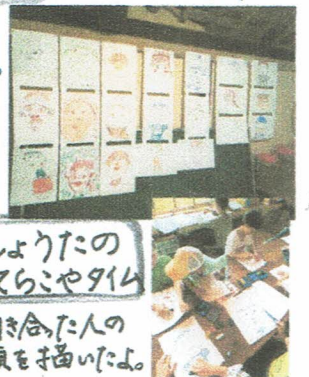


透也の
クロック最高!!

じゃがいもが小さ
かったから、ピーラー
でむくのはたいへんだった
けど、たのしかったよ。(透也)



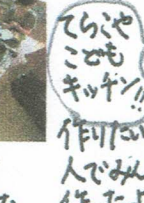
けんかをしなから
作りたい人にと
あまたもので作った
ドーナツがおいし
かったよ。(いりき)



暑いから
涼を求めて
工夫する~



百人一首クラブ
/学期かよはな
メンバーに、クラブ長が
手作りのプレゼント!!



しょうたの
てらこやタイム
向き合った人の
顔を描いたよ。



人の顔を描くのは
やっぱりむずかしいなと
思った。(マーカー)

こころに残った一場面
~子どもたちの姿やエピソード~
7月

想いのせ
イカダレースへ
いざ出陣

きく

色楽の時間

しょうた

イカダW杯 2026
涙あり、笑いありの大会。
いかだづくりの過程から
みな燃えていました!!

ふっくん

川プールにイカダレース、海遊び。
あつという間の7月だった。
毎年感じるのは、水には人の心を
開放する力があるということ。
僕はただぶらかりと背浮きして、
空を眺めるのが好きだ。
ものすごくリラックスできる。
遠泳では必須のこの背浮き。
もしかしら、あの長い距離を泳ぎ切る力は
この「力を抜く時間」から生まれているのかもしれない。

りっかがり帰ってこゆに
「しょうた、絵好き」と
伝えてくれたそう。
そしてみんな絵を描くとい
夢中になってくれた。
自分を見てもらえる時間、
思いを共有できる時間。
あたたかい。

ももらん

家の田植えのために
お休みをもらって、約10日
ぶりに会ったら、皆大き
なっていてびっくりした。
お米の苗と同じように
毎日お日さまいっぱい
浴びて
ズンズン
成長する夏。

「ちょっと早い」「もうちょっと間隔を空けて」
隣からあつんの声がする。しばらくはいい、と返事を
しながらハンドレをきる。
はいめて、みんなが乗ったセキを運転して室後まで
行った。思ったより緊張はしなかった。で、気を
抜くと恐怖と緊張の間にあるような気持ちに
吞まれそうになることも分かった。
下を見ないように、とにかく前だけを向いて...
そう、それは綱渡りする人みたいな気分だった。
春樹が泳いでいるとき、「怖い」と何度も言った。
その後ある時間で「プールはいんなだけと、海に
下には何かいそうと怖い。」と言った。実際、夢では
泳いでいるときにサメが出てきたそう。
そうか。春樹も綱渡りしてんだ。
運転席には1人しか座れないように、泳ぐのも自分
でもあの日あつんが助手席で声かけをしてくれ
るように、同じ目線で励ましてくれる人はいる。
遠泳にチャレンジするみんな、応援してる!
観客としてではなく、同じく綱を渡る一隣人として...

みらい

あみん

イカダレース、スタート直後、翔馬のいけぞがバババと崩れる。
昨日の試走では上位につけそうと本人も感じていたから
くやし涙が止まらない。一度陸に戻り、結び直す。泣き
ながら結び直す。手伝ってくれる人も現れる。昨日もすれ
たからやはりスタート前に自分で確認する必要があるかも
しない。わたしはただ見守ると決める。今回はそれと違
失敗もくやし翔馬顔がしかりと味わう権利がある。
その邪魔を誰もしてはいけないから。ただ見守る。